

新年のご挨拶



会長
佐藤 利吉

明けましておめでとう御座います。会員の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

午年の今年は、馬にあやかり、やること全てが“うま”く行くように祈りたいと思います。

公益法人へ移行して二年目、窮屈な運営に苦しみながら、事業を遂行して参りました。これは会員の全面的な協力のお陰と感謝の念でいっばいでございます。残り三か月、年度のまとめを会員のさらなる協力により、きちんと締めくくりたいと思います。

受注関係は公共事業が大幅に増えました。特にスポーツ施設の草刈りなど新規に年間約四百万円の受注があり、それに対応するために乗用の草刈り機を購入。仕事の能率が大幅にアップしました。

民間からの受注は、依然として低迷を続けております。中央の企業がアベノミクス効果で、業績を回復し

ておりますが、地方までこうした状況が波及するのはいつの事やら、当分厳しい運営を迫られそうです。

会員のボランティア活動の成果を上げた作品展覧会が明るい話題です。寺田晃美氏を中心に、実行委員が積極的に協力。クイズを復活させ、景品代を委員が拠出、募金に手腕を発揮した伊藤アヤ子さん、彼女の魅力で一万七千円余り募金。それで景品を購入、来場して挑戦した人に提供、好評でした。安部久雄氏の切り絵の作品も素晴らしい、実演も好評でした。

作品展は会員の人生の生き甲斐作りの場です。趣味を大事にする仲間が、作品を通じて交流し合う場です。生きる証しに作った作品を通して、心を通わせ合う場です。一泊の函館旅行、眩いきらめきの夜景に感動しました。波静かで船の中でゆったりくつろぎました。三十三名が五稜郭、昆布館、自由市場に足跡を残し、旨いお土産を買って帰りました。

生きていることの素晴らしさをシルバーの活動に参加して、証明し合いましよう。様々な制約に屈することなく、午年を足並みそろえて頑張りましよう。

新年のご挨拶



大館市長
小畑 元様

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、アベノミクスによる円安や株の乱高下に期待と不安が交錯する中、二〇二〇年オリンピックの東京開催、富士山の世界文化遺産登録の決定といった嬉しい知らせ、度重なる台風や豪雨による災害など、良いことも悪いことも含め様々なことがありました。

本市でも広範囲で甚大な水害が発生し、今もなお、その復旧活動に力を注いでおりますが、一方で、長年に渡る地域の悲願であった高速道路の開通という嬉しい出来事もありました。また、高速道路効果もあって、一昨年来、市内では様々な企業による工場等の新増設が相次いでおり、昨年には有効求人倍率が過去十年間で最高を記録するなど、懸案の雇用状況も一定程度の回復をみる事ができました。いろいろな意味で忘れられない

一年であつたと思います。

さて、時代は超高齢化社会へと突き進んでおりますが、そうした時代だからこそ、高齢者が主役となつて輝ける環境が必要と考えます。

豊富な経験や知識、技能をお持ちの高齢者の皆様が、様々な分野で大いに活躍いただけないということは、地域社会にとつて大きな損失であります。また、貴センターが取り組むボランティア活動やサークル活動などは、高齢者の健康維持や生きがい、満ちあふれた生活の実現、ひいては地域の福祉向上にどれほどつながるものなのか、その大きさは計り知れません。

本市としましては、今後も様々な面で支援していく所存であります。皆様には、本年も明るく元気に、貴センターを拠点としてお仕事や趣味に励んでいただければ幸いです。

結びに、大館市シルバー人材センター並びに会員の皆様の日頃のご協力にあらためて感謝申し上げますとともに、本年も皆様にとつて幸多い一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

会員紹介「年男・年世」

今年の干支は、
午です。
うま

八十四歳になる方が四人、七十二歳になる方が四十五人在籍しています。午年生まれの会員に、ご自身の「①趣味・特技 ②嗜好品 ③健康法 ④好きな言葉 ⑤シルバー会員として思うこと」を伺いましたのでご紹介いたします。
なお、誌面の関係上全員ご紹介できませんことをご了承願います。



二班
白川 久
(84歳)

- ①菊花の栽培
- ②ビール、紅茶
- ③早寝・早起き
- ④誠実、忍耐
- ⑤入会以来二十数年、皆様のご指導・ご協力により頑張ってきました。本当にありがとうございます。



十班
荒川 保夫
(84歳)

- ①趣味↓歌うこと、旅行、読書
特技↓犬の訓練
- ②日本酒、焼酎他
- ③常に体を動かすこと「サルコペニア(骨格筋量・筋力低下)防止
- ④笑顔、よろこび、忍耐、実行
- ⑤会員になり十数年。会合等に出席し、皆様と集い、話を聞いてもらって健康と若さを保ち、毎日笑顔で生活させて頂いております。今後とも宜しく御願致します。



二班
畠澤 豊治
(84歳)

- ①旅行、山菜採り
- ②果物のジュース
- ③早寝・早起き
- ④感謝、忍耐
- ⑤仕事は楽しく、どんな仕事でも健康に気をつけて頑張りたいと思っています。宜しく御願致します。



六班
五十地 勲
(72歳)

- ①旅行、カメラ、登山
- ②焼酎
- ③毎日のラジオ体操とジョギング
- ④臨機応変
- ⑤どこで働いても同じことですが、誠意を持って仕事をすること、また、仲間を大事にし、他人の話を良く聞く事が職場を楽しく明るくする事だと思っております。



二十三班
佐々木 チサ
(72歳)

- ①特にない
- ②コーヒー、日本茶
- ③山歩き、温泉
- ④思いやり、努力
- ⑤シルバー会員になって多くの仲間と知り合い、色んな仕事をいただき感謝しております。今後とも宜しく御願致します。



二十二班
高橋 京子
(72歳)

- ①パッチワーク、山菜採り
- ②コーヒー
- ③できる限り体を動かすこと
- ④ありがとうございます、感謝
- ⑤会員になって多くの仲間と出会うことができました。パッチワークサークルに加えて頂き、私の大好きな趣味になりました。感謝しております。今後とも宜しく御願致します。



二十二班
菅原 健悦
(72歳)

- ①山菜採り
- ②ビール、焼酎、コーヒー
- ③ラジオ体操、散歩
- ④感謝、誠実
- ⑤皆様の支えで頑張ってきました。一緒に仕事ができる事が楽しく、感謝します。健康に気をつけ頑張ります。宜しく御願致します。



十三班
山田 和子
(72歳)

①園芸
②コーヒー、紅茶
③散歩
④ありがとう
⑤会員になつていつも勉強させて頂いております。みんな素晴らしい仲間。お互いに助け・助けられ感謝の気持ちでいっぱいです。これからも助けて下さいね。やっぱりシルバーっていいなあ！



十九班
伊藤 清
(72歳)

①特にない
②ビール、日本酒
③温泉、早寝・早起き
④努力、忍耐
⑤入会して七年経ちました。多くの方々と一緒に働き、楽しく過ごせていることに感謝しております。これからも健康に気をつけながら頑張りたいと思います。



八班
菊池 親弥
(72歳)

①囲碁、将棋、麻雀、広く浅く：
②麦焼酎のお湯割、レモン味で：
③卓球を週二回、大股歩きのウォーキング
④おん・にこにこ・笑顔で・そわか
⑤高齢化社会と言われる昨今、私もシルバー会員への期待もますます高まりつつあります。ウマ歳の私たちも地域に役立ち、感謝されるような心がけ、日々楽しく元気で過ごしたいものです。



十八班
中山 和則
(72歳)

①園芸、スポーツ観戦
②コーヒー、酒、タバコ
③睡眠、体を動かす
④誠実
⑤会員になつて十数年、皆様と一緒に楽しく仕事ができ感謝しております。皆様の支えで頑張つて来られました。有難うござい



十九班
工藤 チナ子
(72歳)

①カラオケ、読書
②コーヒー、紅茶
③食生活に留意
④忍耐
⑤会員になつて七年経ちました。多くの方々と知り合うことができ、色々な話を聞いたり教えて貰ったりしています。今後も健康に気を付けて頑張ります。



三班
沢木 正広
(72歳)

①海釣り
②焼酎
③特別無し
④不言実行
⑤入会して十年目になります。多くの人との出会いがあり、大変勉強になりました。健康に気を

付け、皆様の励ましを受け、今後も一回でも多くの出会いを大切にしていければと思います。



十七班
因幡 清
(72歳)

①趣味↓TV観戦(野球・相撲)特技↓自転車修理
②ビール、たばこ
③散歩
④忍耐
⑤シルバーの仕事は楽しいし、気分転換にもなります。今後とも宜しくお願いします。



七年ぶりの函館旅行



十班
岩谷 和子

シルバー恒例の旅行には、毎年楽しく参加させて頂いておりますが、今回は七年ぶりの函館旅行とのこと。前回のコースには、トラピスチヌ修道院や五稜郭公園が入っていなかったため、和洋両極の歴史を是非見学したいとの思いで、今回の旅行に参加しました。

今年は例年より一週間ほど遅い日程だったため、寒さと天候を心配しましたが、皆さん幸運のキーをお持ちの様で天候にも恵まれ、往路の波も穏やかに函館に到着しました。

最初の見学は、函館の伝統食品である昆布情報の発信基地として昆布の美味しさと健康を届けている「昆布館」、ここで最初のお買物タイム。皆さん試食も楽しみながら思い思いに買物を楽しみました。

次はいよいよ「五稜郭公園」で

す。大砲の大きさやタワーから眺める星型の城郭に目を奪われつつも、幕末から明治への息づかいを感じられる思いがしました。

一日目最大のイベントは「函館山」登頂です。前回はバスでの登頂でしたが、今回はロープウェイ。一度に百人以上も乗れるゴンドラの大きさに、まずはビックリでしたが、大きさを割には揺れも小さく、心配していた寒さもさほどではなく、とてもラッキーでした。そしていよいよ百万ドルの夜景。夜景を目の前にした途端、あちらから、こちらからも「ワアーきれい!」、皆さんの言葉しか浮かばない様子でした。さすが日本三大夜景のひとつです。このまま少しだけ時計の振り子を止めたい気分になりました。

ホテルに着いてゆったりと温泉につかり、函館の海の幸を肴に皆さんとの交流を楽しみました。

二日目は楽しみにしていた「トラピスチヌ修道院」です。赤レンガに半円アーチの窓など、ゴシックとロマネスクの混在するデザインが印象的でとても素敵でした。

最後は「函館自由市場」でのお

買物タイム、それぞれにお土産選びを楽しんだ後、フェリーで青森港をめざし帰路につきました。

今年も皆さんと語り合い、笑いあい、楽しい思い出になりました。



函館奉行所・五稜郭本陣

「会員作品展」に参加して



十四班
安部 久雄

九・二十日、二日間の日程で中央公民館を会場にして開催されました。シルバー事業のアピールと会員の趣味や特技を市民に紹介するため、十九年前に始めたそうです。出展分野は、写真、書画、手芸品、盆栽、山野草、切り絵、木工品等で構成。配列と展示には細心の配慮がなされ立派な作品展であったと思います。展示に携わった実行委員やボランティアの皆様、ご苦勞様でした。

健康チェックや人気のクイズも再開しました。記憶力を試す「物忘れゲーム」です。参加者に景品を差し上げましたが、シルバーからは予算が一切出ないので、実行委員にカンパをお願いして協力をいただきました。少し残念なのは、昨年に比べて出展数とご来場者の減少です。

私ごとになりますが、私は当初組子細工等の木工品を制作して作品展に参加しておりました。次には何を出したらいいかと迷っていたこともありましたが、事務局より作品展の実行委員にとの話があり、そうなると思えばと益々何か別の物を出品しなければと思っていました。

第十九回会員作品展は、十月十



切り絵実演コーナー

そんな時、たまたま県外の本屋に立ち寄り本を見て回っていたところ、切り絵の本が目に入りまして。「これだ！」次はこれに挑戦してみようと、即刻その本を買って帰りましたが、思うようにいくはずもなく、とても人様に見せられるものはありませんでした。そのためまずは考えを改め、簡単にできそうなものから始めることにしました。独学で切り絵を繰り返すこと三年目にして、ようやくモノになって来たのかと、今日この頃思えるようになりました。

昨年と今年、二年続けて「切り絵の実演」をお客様の前で行って



十四班
佐藤 六郎

十一月十一日より二十日迄、四十時間の講習を受けました。

SP「パソコン実務講習 (中級)」を受講して



「シルバーで知恵の輪 人の輪 社会の輪」

みました。お客様が興味を持ってくれたのが何よりです。

最後に、ご協力いただいた各実行委員の皆様並びに会員と事務局に心より感謝申し上げます。

最初の三日間はワードから始まり、初日のオリエンテーションの後、ワードの基本操作、文字入力、訂正、文章の保存と読み込み、特殊な文字の入力方法、クリップアートの挿入、ハガキの作成と、講習は進んでいきました。

三日目はワードの練習問題で、オリジナルな文章の作成と、クリップアートの挿入が課題でした。クリスマス案内状を作成することにして、A4サイズの用紙を選択し、開催日時、パーティ内容、賛否、幹事名を記載し、最後にクリップアートでイルミネーションの絵を挿入してワードの課題を作成しました。

四日目からは苦手なエクセルです。データ入力、表の作成、オートサムで計算式、関数等でラウンドダウン、トウデイ関数、ルックアップ関数、イフエラー関数など解らない関数が多くて講習についていくのが大変でした。

七日目になりエクセルの練習問題です。課題は見積書と請求書の作成でした。教本を見ながらデータ入力、野線を使って表の作成、サム関数で計算し合計を出して作



パソコン実務講習

るのですが、思うように出来ませんでした。

最終日には、パソコン講習を受講した感想文の提出です。エクセルで苦労したことを題材にして、クリップアートでパソコン講習受講中の絵を挿入し完了です

この度はシルバー人材センターの佐藤聡子さん、東光コンピュータサービス(株)の小林綾乃先生、山内由紀子先生、成田義栄先生、大変お世話に成り、有り難うございました。

七十の手習い「やれば出来る」と思ったが、その時は覚えなかつても次の日には思い出せない現実、出来なくとも気力だけはありません。

写真にハマって
二十四年



十一班
成田輝夫

ある日新聞に掲載された、公民館での「花の写真の撮り方講習会」の記事を見て、どんな講習かも分からないまま飛び込んでみました。

昔のカメラ一台あるだけの状態でしたので、カメラ機材の種類や撮影の方法等々、三十人くらいの受講生がいたと思えました。長根山貯水池や石田バラ園、秋田駒ヶ岳の高山植物撮影など、一年間受講しました。

自分でどんな写真を撮ったのか全然覚えていませんが、この時の受講生でサークルを作って更に勉強しようということになり、今の「大館写真クラブ」花の会「」の誕生となり今に至っております。

あれから二十四年、毎月の研究会で、撮影した写真をスライド映写機で大きく映し出し、皆で面白い批評しながらの勉強会が楽し

く、四季それぞれのポイントを探し出して撮影会に出かけるのも楽しかったです。

この秋に実施した写真展が四十回を数え、五十回目の大きな節目も間もなくです。

年齢もだいぶふえて遠出も大変になりましたが、北東北の撮影ポイントは殆んど制覇しました。写真コンクールにも挑戦し、「真展」「大館市観光写真展」「森吉山ダムコンテスト」等々の入選・入賞もありました。

シルバー人材センターの「会員作品展」には、今までの写真からテーマを絞って展示させていただいています。「シルバー山の会」でも、カメラ片手に、山頂での皆の笑顔撮るのが楽しみです。

これからも身体と相談しながら仕事に、山の会に、楽しく参加出来ると思っております

新会員紹介

- 小坂正昭 二班
- 虻川清昭 五班
- 岩間久子 六班
- 石垣健一 六班

太田正一	八班
深井俊一	十一班
高橋禮子	十一班
中田久則	十二班
斎藤清	十二班
松山孝一	十三班
越後弘志	十三班
佐藤與志雄	十三班
鳴海義衛	十四班
梅戸義明	十五班
佐藤正治	十六班
永沢武男	十六班
畠山強	十八班
畠山ヨシ	十八班
浅利秀悦	十九班

・以上、平成二十五年七月二十一日以降、十九名の方が新しく仲間入りしました。皆様どうぞ宜しくお願いいたします。

会員獲得と仕事開拓活動

今年度は、全会員に要請し、会員確保のためのチラシ配布活動（一人三部）を行ってまいりました。

また、十月には理事・監事で大館圏域産業祭（会場：大館樹海ドーム）において、大勢の来場者に



役員による「街頭宣伝活動」

宣伝用ポケットテッシュとリーフレットを配りました。

さらに、当センター独自でポスターを作りました。もちろんモデルは会員です。笑顔で楽しく働く姿をモチーフにし、役員と地域班正副班長のご協力により、地域の人目に付きやすい場所に掲示してもらいました。

他にも、会員による口コミ勧誘の効果もあり、お陰様で今年度は昨年同期より十六人多い、六十人の入会者数となっております。

しかし、十年程前に比べると入会説明会に来る人がずいぶん少なくなりました。会員数は昨年同期比十五人減となっております。

引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

お知らせ

● 転倒事故・交通事故に注意

・道路が凍っています。歩行時の転倒事故、車のスリップ事故に注意しましょう。

● 継続会員登録と年会費自動引落しのお願い

三月に入ると、二十六年年度年会費の自動引き落とし事務の関係で、継続して会員登録していただけるか、又は退会されるか、確認のために「通知」が配布されます。

どうしても退会される方は「退会届」の提出をお願いします。

継続して会員登録される方は、届出不要です。(期日までに退会届が提出されない場合、継続して会員登録されるものいたします。)

なるべく退会することのないようにお願ひします。
※継続会員登録の場合、ゆうちょ銀行の通帳から年会費が自動引落しされます。手数料と年会費で3025円です。三月下旬に引落しの予定ですので、通帳残高が不足しないようにお願ひいたします。

● 確定申告の季節です

シルバーの配分金は、公的年金と同種の「雑所得」として申告してください。(給与所得ではない。)年金と配分金所得のみの方は、六十五万円の特例控除が認められております。

一方、労働者派遣で就業した方は「給与所得」になります。秋田県シルバー人材センター連合会から「源泉徴収票」が送付されますので、配分金とは区別して申告してください。お間違えの無いようにお願ひします。

※詳しくは、大館税務署又は市役所税務課へご相談ください。

● 会員入会説明会の予定

シルバー人材センターの入会説明会を開催します。

ご近所や知人に定年退職した方がおりましたら入会を勧めてください。

・三月の入会説明会

三月五日(水)

三月十二日(水)

三月二十六日(水)

※午前九時開始

・四月以降は、毎月第二と第四水曜日を開催します。(午前九時開始)

● 地域班会議に参加を

近いうちに、担当の班長・副班長さんから「地域班会議」開催の連絡があります。

センターとの意見交換を図る絶好の機会です。是非参加して下さい。

※仕事に当たっていたら、仲間と交替するなどして参加して下さい。

● 会長杯争奪

“新春麻雀大会”のご案内

期 日 平成26年1月29日(水)

参加費 一人千五百円

※賞品及び昼食代含む

募集人数↓先着二十人

申込は事務局へ49-4088

※競技中は「禁煙」です。

● 当センターのポスターです

まだ有りますので、掲示していただける方は申し出てください。

編集後記

明けましておめでとございませう。新しい年を迎え、会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りします。会報第六十六号は、大館市長様を始め、たくさんの皆様のご寄稿とご協力を得て発行することができました。ありがとうございました。

今年「元年」、年男・年女の会員は四十九名。その中の何人かの方からお伺いしたのに共通していることは、常に体を動かすことを心がけ、人と交わる機会を積極的に得ることが心身共に老化防止につながるとのことでした。

高齢者人口三千万人を超える現在、シルバー人材センター会員は七十五万人。大館市シルバー人材センターでは会員六百人が地域社会の日常生活に密着した就業機会を得て「社会の支え手」となるよう地域社会の活性化に努力しております。

これからもシルバーパワーを結集し、新しい年はいつそうの会員増加が図られますよう、皆様のご支援・ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

【三浦、伊藤、鈴木、畠山、安田】